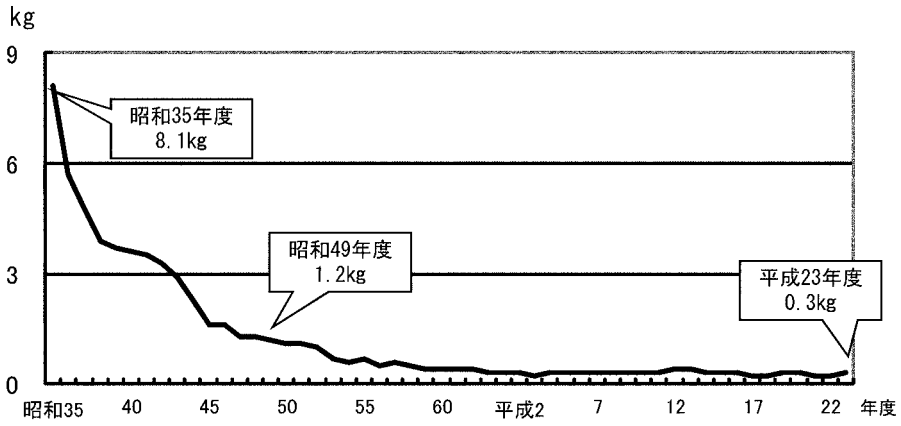
図２　食糧用大麦及びはだか麦の消費量の推移（１人１年当たり）



資料：農林水産省「食料需給表」
　注：平成23年度の数値は、概算値である。

表５　食糧用大麦及びはだか麦の総需要量の推移

（単位：万トン）

年　　度	総需要量	対前年度比
平成20	38	158%
21	33	88%
22	33	98%
23	31	95%
24見込み	33	105%
25見通し	32	98%

注：総需要量には、生産者団体とビール会社との契約栽培により供給される国内産ビール大麦は含まない。

２－２　国内産食糧用大麦及びはだか麦の流通量

⑴　国内産食糧用大麦及びはだか麦の供給量（当年産の大麦及びはだか麦のうち、生産者から実需者に引き渡される数量）

平成25年産の国内産食糧用大麦及びはだか麦の供給量は、平成24年９月の民間流通連絡協議会において報告された平成25年産の作付予定面積に、10ａ当たりの平均収量（二条大麦341kg、六条大麦289kg、はだか麦290kg）を乗じ、さらに、食糧用供給割合（二条大麦55.7%、六条大麦82.5%、はだか麦93.2%）を乗じて、10万トンと見通します（表６）。

⑵　国内産食糧用大麦及びはだか麦の流通量（前年産と当年産の食糧用大麦及びはだか麦のうち、当年度内に市場に流通する量）

平成25年度の国内産食糧用大麦及びはだか麦の流通量は、平成25年産の国内産食糧用大麦及びはだか麦の供給量に、年度内供給比率を乗じ、さらに、平成24年産国内産食糧用大麦及びはだか麦の在庫量を加えて、10万トンと見通します（表６）。

表６　国内産食糧用大麦及びはだか麦の流通量の推移

（単位：万トン）

年産	食糧用大麦及びはだか麦の供給量 ①	うち年度内供給量 ②	年度内供給比率 ②／①	次年度繰越（在庫） ①－②
平成20	13	5	36.8%	8
21	10	3	25.0%	8
22	8	2	21.4%	7
23	10	3	26.5%	7
24見込み	9	3	34.0%	6
25見通し	10	4	34.0%	
		25年度流通量見通し		10

注：１）国内産食糧用大麦及びはだか麦の供給量は、は種前契約に基づき、生産者から実需者に引き渡される数量である。
　　２）四捨五入の関係で、計と内訳が一致しないことがある。

２－３　外国産食糧用大麦及びはだか麦の需要量

平成25年度の外国産食糧用大麦及びはだか麦の需要量は、総需要量32万トンから国内産食糧用大麦及びはだか麦の流通量10万トンを差し引いて、22万トンと見通します（表７）。

２－４　外国産食糧用大麦及びはだか麦の輸入量（政府からの販売数量）

平成25年度の外国産食糧用大麦及びはだか麦の輸入量は、外国産食糧用大麦及びはだか麦の需要量と同量の22万トンと見通します（表７）。

なお、飼料用大麦の輸入については、別途農林水産大臣が定める飼料需給計画に基づき、行います。

表７　平成25年度の食糧用大麦及びはだか麦の需給に関する見通し

（単位：万トン）

総需要量	A	32
国内産食糧用大麦及びはだか麦の流通量	B	10
外国産食糧用大麦及びはだか麦の需要量	C＝A－B	22
外国産食糧用大麦及びはだか麦の輸入量（政府からの販売数量）	D＝C	22

注：１）国内産食糧用大麦及びはだか麦については、上記の流通量10万トンの他に生産者団体とビール会社との契約栽培により国内産ビール大麦７万トンが供給される見込みである。
　　２）四捨五入の関係で、計と内訳が一致しないことがある。